

CRAVE

Analog Semi-Modular Synthesizer with 3340 VCO, Classic Ladder Filter, 32-Step Sequencer and 16-Voice Poly Chain

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なブ口用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブル およびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。
12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。
13. 付属品は本機製造元が指定したものののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものののみをお使いください。

もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45°C 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera, Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

限定保証

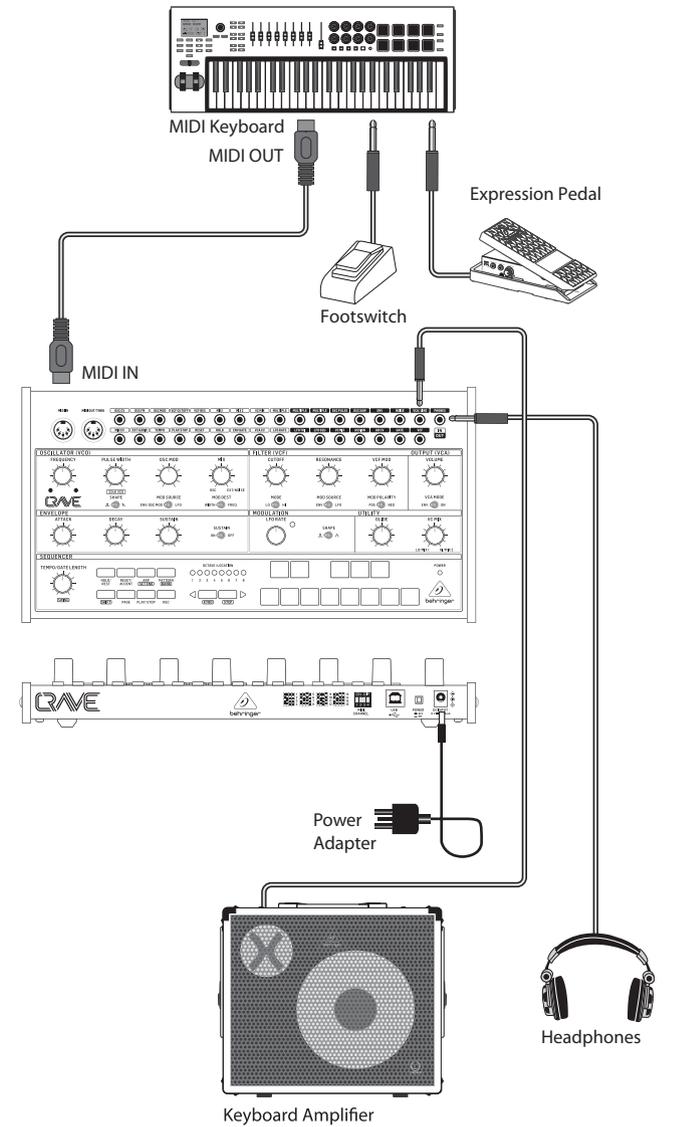
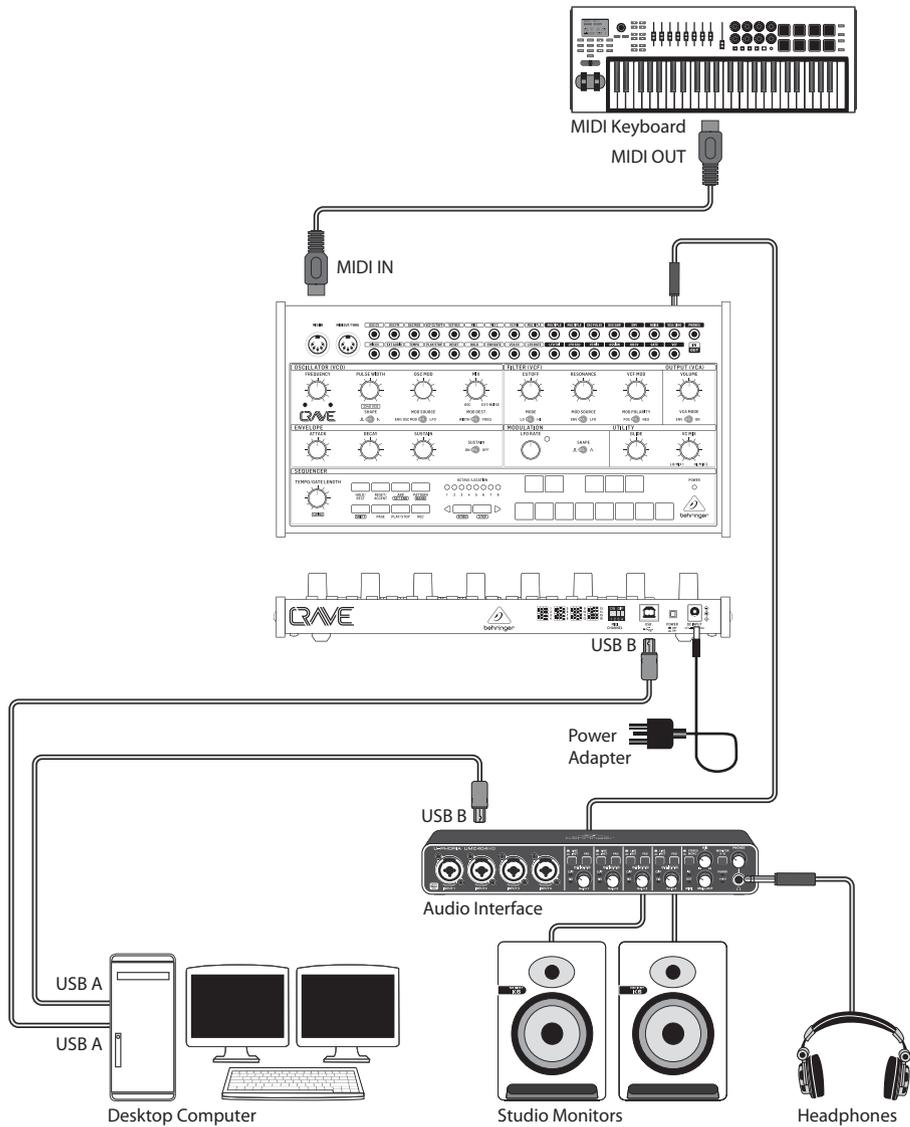
適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

CRAVE フックアップ

ステップ 1: フックアップ

Studio System

Band / Practice System

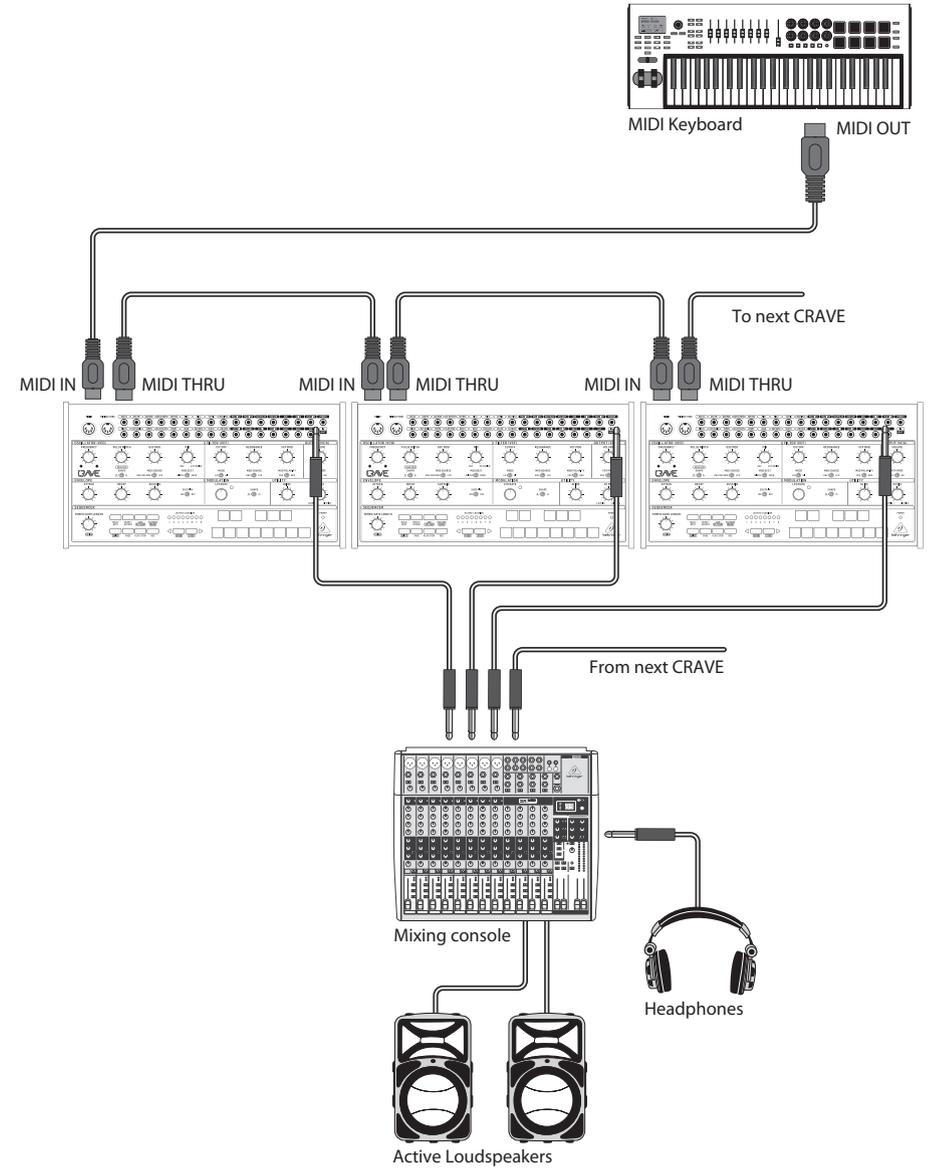
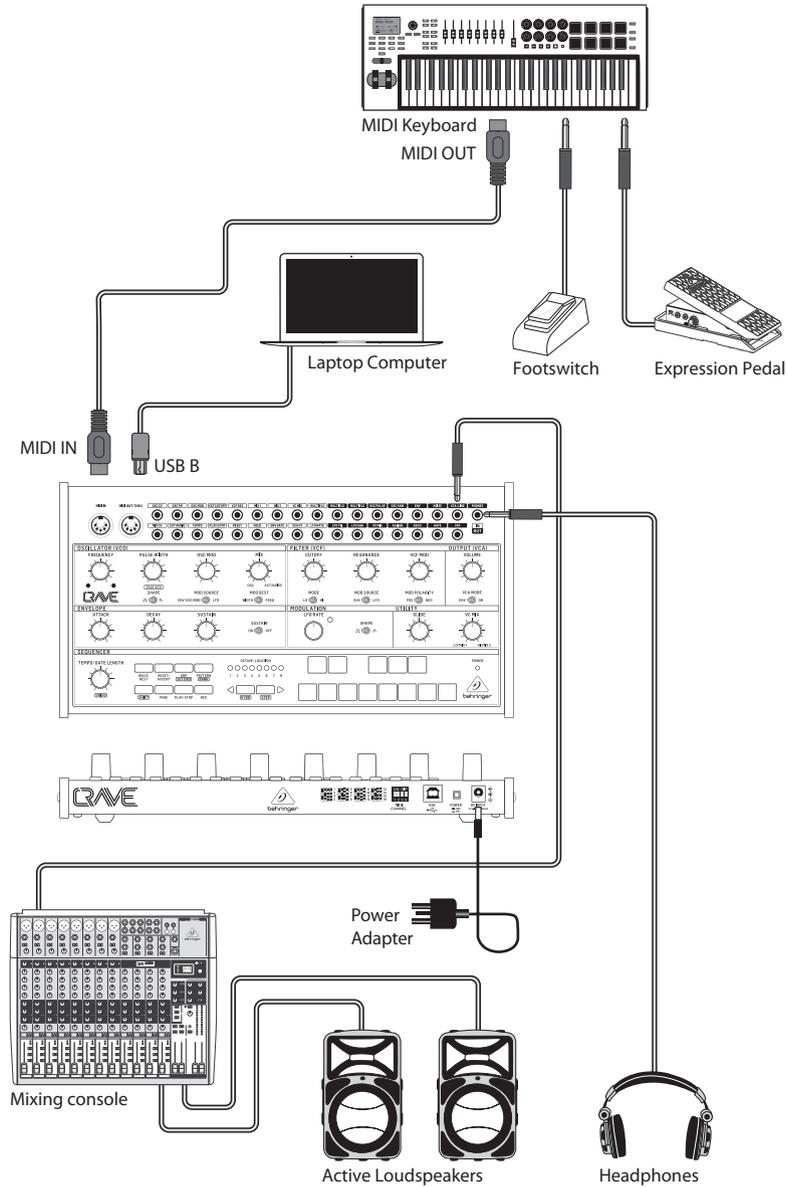


CRAVE フックアップ

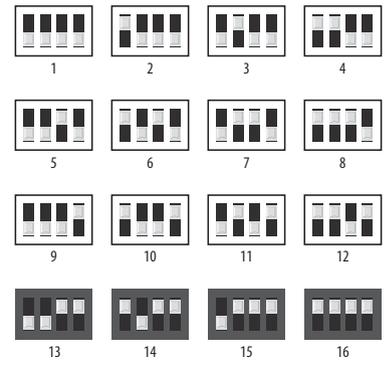
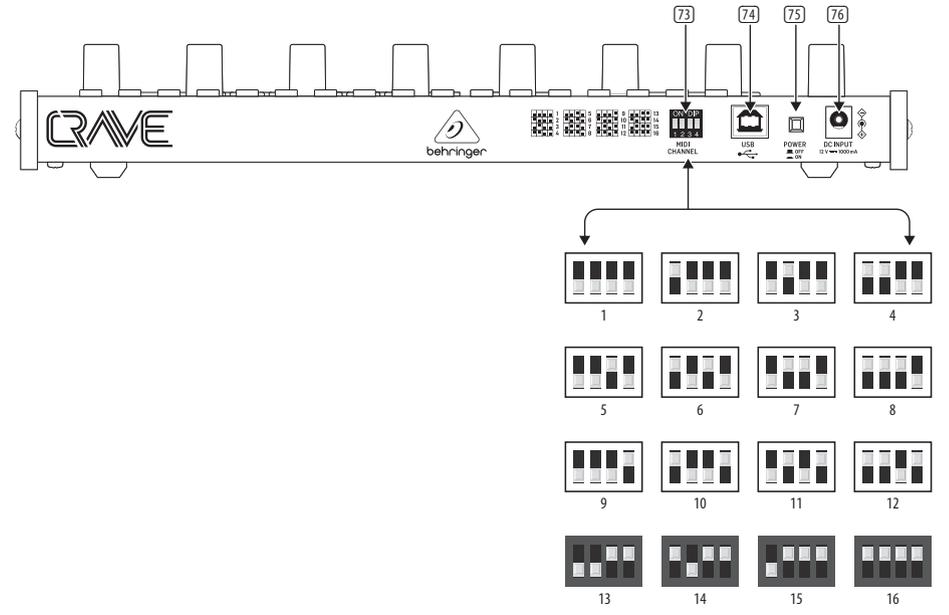
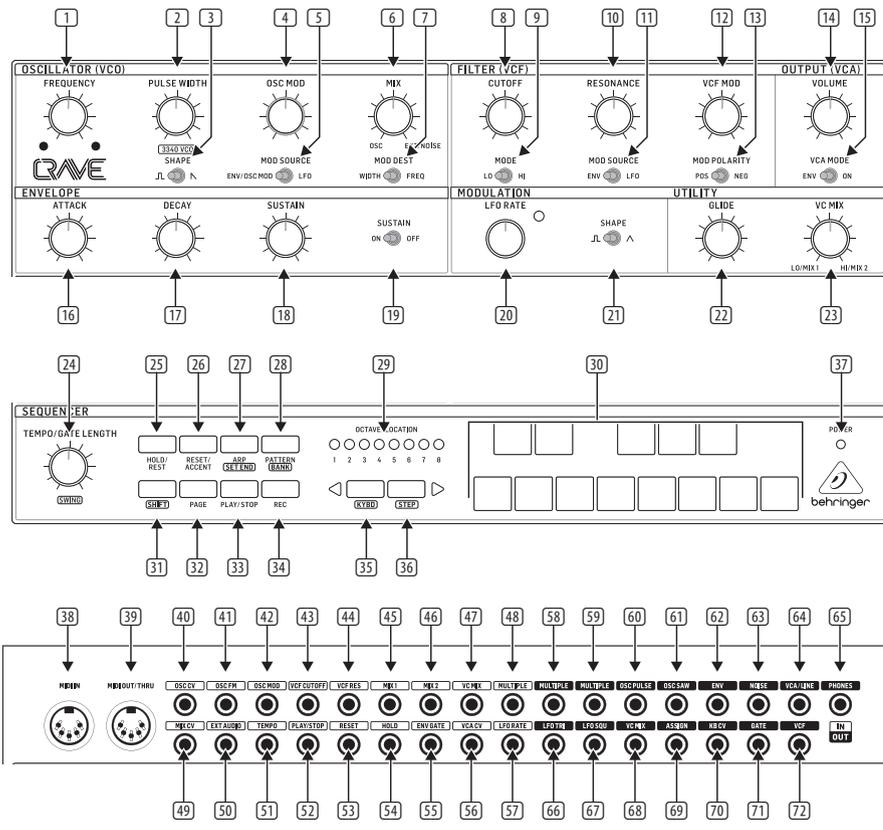
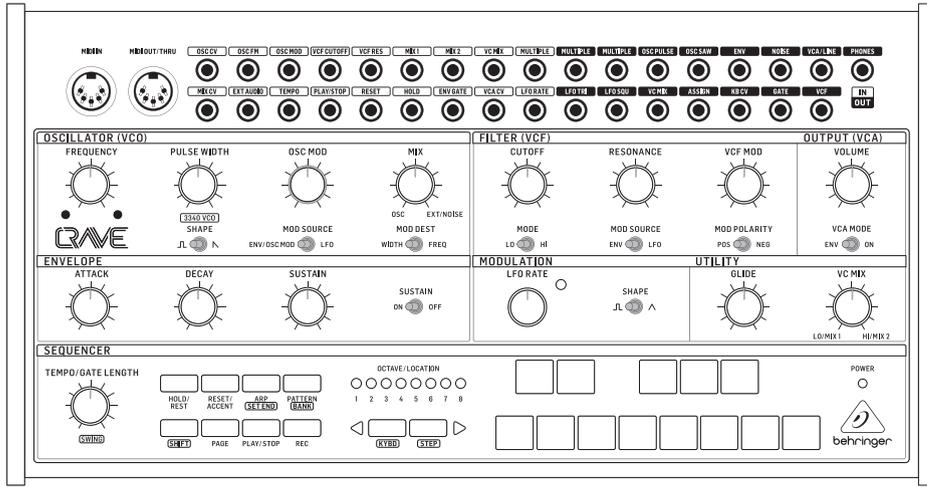
ステップ 1: フックアップ

Live System

Poly Chain System



CRAVE コントロール



CRAVE コントロール

ステップ 2: コントロール

Oscillator (オシレーター - VCO -) 部

- ① **FREQUENCY (周波数)** - オシレーター (発振機) の周波数を上下とともに約1オクターブの範囲で調節します。
- ② **PULSE WIDTH (パルス幅)** - オシレーター (パルスモード時) のパルス幅を、ナロー〜スクエア (中央位置) ~ワイドの間で調節します。
- ③ **SHAPE (シェイプ)** - オシレーターの波形を、パルス波または逆ノコギリ波のいずれかより選択します。
- ④ **OSC MOD (オシレーターモジュレーション)** - オシレーターに適用するモジュレーションの深さを選択します。
- ⑤ **MOD SOURCE (モジュレーションソース)** - モジュレーションソースを、エンベロープ (または外部モジュレーションソース)、もしくは LFO のいずれかより選択します。
- ⑥ **MIX (ミックス)** - VCO 出力と内蔵ノイズジェネレーターのミックス割合を調節します。外部オーディオ入力を使用している場合、ノイズの代わりにミックスに付加されます。
- ⑦ **MOD DEST (モジュレーション ディスティネーション)** - モジュレーションの送信先を、パルス幅モジュレーションまたは周波数 (フリーケンシー) モジュレーションのいずれかより選択します。

Filter (フィルター - VCF - 部)

- ⑧ **CUTOFF (カットオフ)** - フィルターのカットオフ周波数を調節します。
- ⑨ **MODE (モード)** - VCF フィルターを、ローパスまたはハイパスのいずれかより選択します。
- ⑩ **RESONANCE (レゾナンス)** - カットオフ周波数の信号を強調する度合いを調節します。
- ⑪ **MOD SOURCE (モジュレーションソース)** - VCF のモジュレーションソースを、エンベロープジェネレーターまたは LFO のいずれかより選択します。

- ⑫ **VCF MOD** - VCF モジュレーションの深さを調節します。
- ⑬ **MOD POLARITY (モジュレーション極性)** - VCF モジュレーションの極性を選択します。

Output (VCA) (出力- VCA - 部)

- ⑭ **VOLUME (音量)** - シンセサイザーの全体的な出力レベルを調節します。
- ⑮ **VCA MODE (VCA モード)** - エンベロープを選択します。VCA はエンベロープでモジュレートされます。"ON" の位置では、VCA 出力は、最後にプレイしたキーになり、エンベロープからは独立となります。

Envelope (エンベロープ部)

- ⑯ **ATTACK (アタック)** - キーを押したあと、最大レベルに達するまでの時間の長さを制御します。
- ⑰ **DECAY (ディケイ)** - 現在のレベルから最小レベルになるまでにかかる時間の長さを制御します。
- ⑱ **SUSTAIN (サステイン)** - アタックタイムに達した後に、維持するエンベロープレベルを制御します。
- ⑲ **SUSTAIN ON/OFF (サステイン オン / オフ)** - "OFF" の位置では、アタックタイム終了後にレベルの減衰が始まります。"ON" の位置では、キーをホールドしている限り、サステインレベルが保たれます。

Modulation (モジュレーション部)

- ⑳ **LFO RATE (LFO レート)** - ローフリーケンシーオシレーター (低周波オシレーター) の周波数を調節します。LED ライトは LFO レートに合わせて点滅します。
- ㉑ **SHAPE (シェイプ)** - LFO 波形をスクエア波または三角波のいずれかより選択します。

Utility (ユーティリティ部)

- ㉒ **GLIDE (グライド)** - キーボードノート間のグライド (ポルタメント) タイムの長さを調節します (SHIFT を押した状態では、シーケンサーオペレーション時、ツマミで "ラチェット" も調節します)。
- ㉓ **VC MIX (VC ミックス)** - LO/Mix1 ~ HI/Mix2 の間で VC MIX を調節します。このコントロール端子はシンセサイザー内部信号経路外のため、使用するにはパッチコードが必要です。

Sequencer (シーケンサー部)

- ㉔ **TEMPO/GATE LENGTH (テンポ / ゲート長)** - シーケンサーのテンポを調節するノブです。ステップ編集時は、ゲートの長さも調節します。SHIFT キーをホールドしながら操作すると、SWING (スウィング) も調節します。
- ㉕ **HOLD/REST (ホールド / レスト)** - パターンプレイバック中に、現在のステップをホールドします。ARP モードでは、こちらを使用すると ARP_Hold モードに入る / 終了します。キーボードとして使用している間は、キーをホールドします (HOLD 入力にフットスイッチを接続した場合、同様に作用します)。
- ㉖ **RESET/ACCENT (リセット / アクセント)** - プレイバック時、パターンをステップ1へリセットします。ステップ編集時は、ステップにアクセントを付加します。
- ㉗ **ARP (SET END) (アルベジオ - エンドを設定)** - ARP (アルベジオ) モードでは、CRAVE の 13 個のキーボードスイッチを使用してホールドしたノートにしたがい、アルベジオをプレイします。2 度押しすると アルベジオをプレイ & ホールドします。シーケンサーモード時、SHIFT と SET END を同時に押し、その後 STEP スイッチを押すと、そのステップが現在のパターンの最終ステップになります。

- ㉘ **PATTERN (BANK) (パターン - バンク)** - 下記の通り、現在のパターンまたはバンク番号にアクセスするのに使用するボタンです:

PATTERN (パターン): PATTERN を押すと、8 つの LOCATION LED ライトのうち、現在のパターンナンバーに対応した番号 (1~8 のいずれか) が点灯します。別のパターン番号に変更するには、PATTERN ボタンをホールドしたまま、任意の STEP ボタン (1~8) を押すか、小さなパターン番号へ変更するには <KYBD を、大きいパターン番号へ変更するには <STEP> を押します。

BANK (バンク): SHIFT および PATTERN ボタンの両方と、8 つの LOCATION LED ライトのいずれかを押します。異なるバンク番号に変更するには、SHIFT と BANK を長押ししながら、いずれかの STEP ボタン (1~8) を押すか、小さなパターン番号へ変更するには <KYBD を、大きいパターン番号へ変更するには <STEP> を押します。

- ㉙ **OCTAVE/LOCATION (オクターブ / ロケーション)** - オクターブ、パターン番号、バンク番号、現在のページ、およびゲート長など様々な詳細を表示する、マルチカラーの LED ライトです。
- ㉚ **キーボード / ステップスイッチ群** - 各パターンステップの閲覧と選択、パターン番号選択、パターンバンクの選択ができる、マルチ機能スイッチです。パターンのレコーディング中、現在のステップを表示するのに使用します。有効になっているステップは LED が赤色に継続点灯し、現在のステップは赤色に点滅します。

スイッチは 13 鍵のキーボードとしてレイアウトされています。オクターブは <KYBD または <STEP> を押すと上下し、現在のオクターブ位置は 8 つの LED ライトによって表示されます。スイッチはシーケンサー編集のコントロール、アルベジオエーター操作に使用します。

CRAVE コントロール

ステップ 2: コントロール

- 31 **SHIFT (シフト)** - セカンダリー機能、すなわち SET END、BANK、SWING、KYDB および STEP など、別のシーケンサーコントロールへのアクセスに使用します。SHIFT を長押ししながら他のスイッチを同時に押します。例えば、SHIFT + PATTERN (BANK) では、LOCATOR LED ライトに現在のバンク番号が表示されます。
- 32 **PAGE (ページ)** - 各パターンの長さは最大 32 ステップです。このスイッチでは 1 ページあたり 8 ステップ、合計 4 ページを表示できます。現在のページは LOCATION LED ライト 1 から 4 で表示されます。パターンのプレイ中、現在のページ内で使用されているステップは STEP LED ライトに表示されます。
- 33 **PLAY/STOP (プレイ / ストップ)** - パターンのプレイバックをスタート / ストップします。SHIFT をホールドした状態でこのボタンを押すと、パターンの保存手順を開始します。
- 34 **REC (レコーディング)** - このボタンを押すと新規パターンのレコーディングを開始します。このボタンも、パターン保存手順において SHIFT と併用します。
- 35 **KYBD (キーボード)** - SHIFT + KYBD を同時に押して、シーケンサーモードとキーボードモードを切り替えます。
- 36 **STEP (ステップ)** - SHIFT + STEP を同時に押して、シーケンサーをステップモードに切り替えます。
- 37 **POWER (電源)** - ユニットに電源に供給され、背面パネルがオンになっている時に点灯します。

MIDI 部

- 38 **MIDI IN (MIDI 入力)** - 外部ソースから MIDI データを受信する 5 ピン DIN ジャックです。外部ソースとは一般的に、MIDI キーボード、外部ハードウェアシンセサイザー、MIDI インターフェイスを装備したコンピューター等です。
- 39 **MIDI OUT/THRU** - MIDI 入力端子で受信した MIDI データをパススルーする 5 ピン DIN ジャックです。MIDI データをアプリケーションへ送信します。

パッチベイ (3.5 mm TS 接続) 入力部

- 40 **OSC CV (オシレーター CV)** - 1V / オクターブ単位のオシレーター ピッチ CV (コントロールボルテージ) です。
- 41 **OSC FM (オシレーター FM)** - オシレーター周波数モジュレーション。
- 42 **OSC MOD (オシレーターモジュレーション)** - オシレーターモジュレーション。
- 43 **VCF CUTOFF (VCF カットオフ)** - VCF カットオフ周波数 CV。
- 44 **VCF RES (VCF レゾナンス)** - VCF レゾナンス CV。
- 45 **MIX 1 (ミックス 1)** - MIX 1 CV 入力。内部で VC MIX に接続しています。
- 46 **MIX 2 (ミックス 2)** - MIX 2 CV 入力。内部で VC MIX に接続しています。
- 47 **VC MIX (VC ミックス)** - VC MIX コントロール CV 入力。内部で VC MIX に接続しています。
- 48 **MULTIPLE (マルチプル)** - ここに入力された信号はマルチプル出力へパスアウトされます。
- 49 **MIX CV (ミックス CV)** - MIX CV。
- 50 **EXT AUDIO (外部オーディオ)** - 外部オーディオ入力。
- 51 **TEMPO (テンポ)** - シーケンサーテンポ。
- 52 **PLAY/STOP (プレイ / ストップ)** - シーケンサープレイ / ストップ。
- 53 **RESET (リセット)** - シーケンサーリセット。
- 54 **HOLD (ホールド)** - シーケンサーホールド。
- 55 **ENV GATE (エンベロープゲート)** - エンベロープゲート。
- 56 **VCA CV - VCA CV。**
- 57 **LFO RATE (LFO レート)** - LFO 周波数レート CV。

パッチベイ (3.5 mm TS 接続) 出力部

- 58 **MULTIPLE (マルチプル)** - マルチプル入力のコピー。
- 59 **MULTIPLE (マルチプル)** - マルチプル入力の 2 つ目のコピー。
- 60 **OSC PULSE (オシレーターパルス)** - オシレーターパルス波形出力。
- 61 **OSC SAW (オシレーターノコギリ波)** - オシレーター逆ノコギリ波形出力。
- 62 **ENV (エンベロープ)** - エンベロープ出力。
- 63 **NOISE (ノイズ)** - ノイズ出力。
- 64 **VCA/LINE (VCA / ライン)** - お使いのシステムのラインレベルオーディオ入力に接続する、3.5 mm TS 出力端子です。接続する前に、音量が最小に下がっており、システムの電源がオフになっていることをご確認ください。
- 65 **PHONES (ヘッドフォン)** - ヘッドフォンを接続する、3.5 mm TRS 出力端子です。必ず音量を下げたからヘッドフォンを装着してください。
- 66 **LFO TRI (LFO 三角波)** - LFO 三角波形出力。
- 67 **LFO SQU (LFO スクエア波)** - LFO スクエア波出力。
- 68 **VC MIX (VC ミックス)** - VC ミックス出力。内部で VC MIX に接続しています。
- 69 **ASSIGN (アサイン)** - 出力をアサインします。
- 70 **KB CV (キーボード CV)** - キーボード CV 出力。
- 71 **GATE (ゲート)** - ゲート出力。
- 72 **VCF - VCF 出力。**

背面パネル

- 73 **MIDI CHANNEL (MIDI チャンネル)** - 表にしたがいがい、この 4 つのスイッチを使用して 1~16 までの MIDI チャンネル番号を設定します。
- 74 **USB (USB ポート)** - コンピューターとの接続に使用する USB B タイプジャックです。CRAVE は、MIDI 入出力に対応したクラスコンプライアント USB MIDI 機器として表示されます。
- USB MIDI 入力** - アプリケーションから MIDI データを受信します。
- USB MIDI 出力** - MIDI データをアプリケーションへ送信します。
- 75 **POWER (電源)** - シンセサイザーをオン / オフします。必ず全ての接続を完了してから、ユニットをオンにしてください。
- 76 **DC INPUT (DC 入力)** - 付属の 12VDC 電源アダプターをここに接続します。電源アダプターは 100V~240V、50Hz/60Hz に対応した AC コンセントに接続します。必ず付属のアダプターをご使用ください。

CRAVE はじめに

ステップ 3: はじめに

概要

このスタートアップガイドでは、CRAVE アナログシンセサイザーのセットアップ方法を解説し、機能について簡潔にご紹介します。

接続

 CRAVE をお使いのシステムへ接続する方法につきましては、本マニュアルの最初の方のページをご参照ください。

ソフトウェアセットアップ

CRAVE は USB クラスコンプライアント MIDI 機器のため、ドライバーのインストールは不要です。Windows および MacOS で CRAVE をご使用になる場合、追加のドライバーは不要です。

ハードウェアセットアップ

システム内の接続をすべて済ませます。背面パネルの MIDI スイッチを使用し、システム内における CRAVE 固有の MIDI チャンネルを設定します。外部 MIDI キーボードを CRAVE MIDI IN 5 ピン DIN 接続入力端子に直接接続します。

必ず付属の電源アダプターを使用して、CRAVE を電源に接続します。サウンドシステムの電源がオフになっていることをご確認ください。CRAVE 背面パネルの電源スイッチをオンにします。

ウォームアップタイム

CRAVE をレコーディングやライブパフォーマンスにご使用になる前に、ウォームアップ時間を 15 分以上お取りいただくことを推奨します (寒冷な場所から搬入した際はさらに延長してください)。プレジジョンアナログ回路が通常動作温度になるための時間を充分に取ることで、精度の高い性能を発揮します。

OSCILLATOR VCO (オシレーター VCO 部)

CRAVE にはメインボルテージコントロールオシレーター (VCO) が 1 つあります。

VCO 波形はパルスまたは逆ノコギリ波のいずれかを選択します。パルス波選択時、パルス幅はナロー、スクエア波 (中央) ~ワイドパルスの間で設定できます。波形とパルス幅の変更によるサウンド変化をよくお聴きください。

周波数は 1 オクターブ単位を上下して調節し、また他の楽器に合わせて微調整もできます。

VCO はパルス幅または周波数のいずれかでモジュレートします。モジュレーションのソースは、エンベロープ (下記詳述) または低周波オシレーター (LFO) のいずれかです。VCO はパッチベイの OSC MOD 入力 でもモジュレートできます。

VCO モジュレーションの量またはデプス (深さ) は OSC MOD コントロールで調節します。

MIX コントロールを使用し、内部 VCO (左側いっぱい) および内部ノイズジェネレーター (右側いっぱい) のミックス具合を調節します。EXT AUDIO 入力端子に 外部入力信号が存在する場合は、ノイズの代わりに外部入力信号がミックスされます。

FILTER (VCF) (フィルター - VCF -) 部

カットオフ周波数、レゾナンスコントロールを使ってプレイし、サウンドへの効果をお聴きください。

上質な 24 dB/ オクターブ ハイパスおよびローパスフィルター により、CRAVE で作成するサウンドを大幅にコントロールできます。

ハイパスフィルターは、カットオフ周波数より低い周波数の信号レベルを低減します。基本波および低次高調波のレベルを効果的に減衰させます。

ローパスフィルターは、カットオフ周波数より高い周波数の信号レベルを低減します。高次高調波のレベルを効果的に減衰させます

レゾナンスコントロールは、信号をクロスオーバー一周波数で強調します。

VCF モジュレーションの量は VCF MOD コントロールで調節可能で、極性は反転できます。例えば、モジュレーションでカットオフ周波数を増幅している場合、極性をマイナスにすると減少します。

VCF モジュレーションのソースはエンベロープまたは LFO です。

パッチベイの使用に加え、さらにこれらの機能によりフレキシブルなサウンドクリエーションが可能になります。

MODULATION (モジュレーション部)

低周波オシレーター (LFO) は VCO および VCF をモジュレートするのに使用します。LFO 周波数は幅広い設定ができ、波形はスクエア波または三角波より選択します。LED ライトで LFO レートが表示されます。

ENVLOPE GENERATOR (エンベロープジェネレーター部)

エンベロープジェネレーターは VCF 部でのカットオフ周波数のモジュレーション、およびボルテージコントロールアンプリファイアー (VCA) で使用します。エンベロープは、VCO 周波数およびパルス幅のモジュレートにも使用します。

アタックタイム、サステインレベルおよびディケイタイム等のコントロール類で、エンベロープシェイプを広いレンジで調節できます。

パッチベイ部

パッチベイ部では、多彩なオプションやコンフィギュレーションによる様々なサウンドの作成が可能です。

VC MIX コントロールの存在は、独立したミニミキサーまたは可変のボルテージソースを備えているのと同様です。メイン信号経路とは独立で動作します。VC MIX CV 入力からのモジュレーションコントロールで、パッチベイ MIX1 と MIX2 のミックス調節をおこなうことができます。そしてパッチベイ VC MIX 出力を、パッチベイの他の入力端子への接続に使用します。MIX1 または MIX2 入力に接続がない場合、VC MIX 出力は 0V (左側いっぱい) から +5V (右側いっぱい) となります。VC MIX 出力から入力へ接続し、VC MIX コントロールを様々に動かして実験してください。

警告: 3.5 mm 入力はオーバーロードしないようご注意ください。必ず、仕様表に記載されている電圧レベルを厳守してください。3.5 mm 出力は、必ず出力電圧に対応可能な入力端子に接続してください。お守りいただけない場合、CRAVE または外部ユニットの損傷の原因になります。

SEQUENCER (シーケンサー部)

シーケンサーについては、本マニュアル内で詳述しています。シーケンサーにはアルペジエーターおよび 13 鍵キーボードも搭載されています。

OUTPUT (VCA) (出力 - VCA -) 部

ヘッドフォンまたはスピーカーシステムの音量調節に使用する、メイン音量コントロールです。

作業時最初にヘッドフォンを装着する時には、レベルを下げた状態でおこなってください。

接続をおこなう時には常に CRAVE の電源をオフにしてください。

CRAVE をオンにしてからパワーアンプリファイアーをオンにし、電源を落とす際は CRAVE の電源を最後にオフにしてください。そうしていただくことにより、電源オン/オフ時のスピーカーの「ボン」「ドン」といった音を防止できます。

出力はエンベロープを使用してモジュレートしたり、または継続的にオンにしたり、最後にプレイしたノートを次のノートまでプレイまたはホールドしたりできます。

アルペジエーター

アルペジエーターを使用するには、シーケンサーセクションの ARP スイッチを押します。

- 1 回押し、アルペジエーターが演奏されます。(ノートがリリースされると停止します。)
- 2 回押し、HOLD と ARP を押し、アルペジエーターがホールドされます。(ノートがリリースされると続きます。)

アルペジエーターのレートは、TEMPO/GATE LENGTH ノブで設定します。アルペジエーターのゲート長は、SHIFT + TEMPO/GATE LENGTH で設定します。

CRAVE はじめに

ステップ 3: はじめに

アルペジエーターの音の鳴る順番は8通りあり、アルペジエーターの演奏中に <KYBD または STEP> を押すことで変更できます。LOCATION LED は、現在の順序1から8を示します。

1. 上1
2. 下1
3. ダウンとアップ
4. ランダム
5. UP (+10月1日)
6. ダウン (+10月)
7. アップ (-10月1日)
8. ダウン (-10月1日)

アクセント

MIDI キーボードを演奏している場合、ペロシティがしきい値を超えると、アクセントが自動的にトリガーされます。(このアクセント ペロシティのしきい値は、SynthTool APP を使用して調整するか、この機能を無効にすることができます)。

演奏中にアクセントを使用するには、ACCENT スイッチを押します。

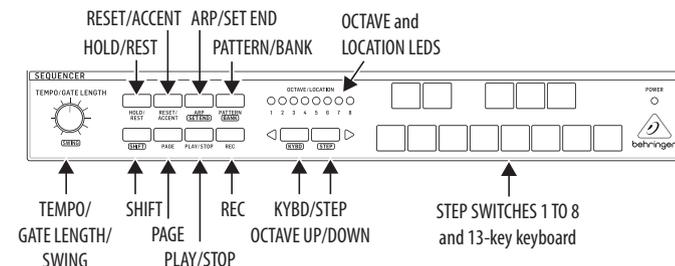
1. 長押しすると、アクセント付きの音符が再生されます。(スイッチを離すと止まります。)
2. 2回押しすと再生され、アクセント ステータスが保持されます。(LED がゆっくり点滅します。)

ファームウェアアップデート

当社ウェブサイト behringer.com で、定期的に CRAVE シンセサイザーのアップデートをご確認ください。ファームウェアファイルはコンピューターにダウンロードおよび保存してから、CRAVE のアップデートにご使用ください。アップデートには、アップデート手順の詳しい解説も付属しています。

切望するシーケンサー操作

ステップ 4: シーケンサーの操作



概要

次の詳細は、シーケンサーの基本的な操作の一部を示しています。より複雑なパターンを試す前に、2つまたは3つのステップの短いパターンを作成できます。ゲートの長さ、ラチェット、アクセント、グライド、レスト、タイ、スイングなど、一度に1つのパラメーターを調整し、再生中にその効果を聞きます。

シンセサイザーにシンプルな設定を選択し、VCO または VCF のモジュレーションを選択しないと役立ちます。

簡単なパターンの録音

1. SHIFT と <KYBD を押してキーボードモードを選択します。
2. SHIFT、RESET、PATTERN を同時に押して、現在のパターンを初期化します。これにより、現在のパターンの前のステップが削除されます。
3. REC を押しすと、STEP 1 スイッチの LED が点滅し始め、これが追加および編集されようとしている現在のステップであることを示します。(REC が選択できない場合は、手順1を繰り返してください。)
4. 以下に示すように、CRAVE キーボードの任意の音符または休符を押します。(KYBD、STEP) スイッチでオクターブを変更できます。8つの OCTAVE / LOCATION LED が赤く点灯することで示されます。
5. 音符の代わりに休符を入力するには、HOLD/REST スイッチを押します。休符が追加されると、LOCATOR LED 8 が点灯します。
6. さらにノートを押します。各音符または休符が追加されると、次の STEP スイッチ LED が点滅します。
7. ステップのゲート長は、TEMPO/GATE LENGTH コントロールを使用して調整できます。LOCATOR LED が赤色に変わり、1から8までのゲートの長さを示します。8に設定すると、次のステップと同点になります。次のステップが同じ音符の場合、2つのステップがタイであるため、より長い音符が作成されます。
8. 「ラチェット」を作成するには、SHIFT を押しながら GLIDE コントロールを回します。ロケータ LED は、1から4までのラチェットの数を黄色で示します。たとえば、4に設定すると、1つのステップが4つの等しい部分に分割されます。ラチェットをかけると、LOCATION LED 6 が点灯します。
9. ステップで GLIDE をオンにするには、GLIDE コントロールを上げます。オフにするには、完全に下げます。ステップの GLIDE がオンの場合、LOCATION LED 5 が点灯します。
10. 明るさやアクセントを増すには、RESET/ACCENT スイッチを押します。アクセントがかかると、LOCATION LED 7 が点灯します。
11. パターンの作成が終了したら、REC を押しします。まだ保存されていませんが、再生できます。注意: ユニットの電源を切ったり、新しいパターンを作成したりしないでください。現在保存されていないパターンは失われます。

切望するシーケンサー操作

ステップ 4: シーケンサーの操作

パターンの演奏

- 現在のパターンを聞くには、PLAY/STOP を押します。
- 保存しない場合は、上記の録音手順を繰り返して新しいパターンを録音できます。または、PATTERN と RESET を押して、現在保存されているパターンを呼び出し、変更を破棄します。
- パターンを保存する場合は、次の「パターンを保存する」の手順に従ってください。そうしないと、新しいパターンを開始したり、電源をオフにしたりすると、パターンは記憶されません。
- このパターンの SWING を作成するには、SHIFT を押しながら TEMPO/GATE LENGTH コントロールを調整します。中央の位置ではスイングはかかりません。下げるとオフビートのみが再生され、いっぱいまで上げるとオンビートのみが再生されます。以下のようにパターンを保存すると、パターンの SWING 設定が保存されます。
- パターンの演奏中、次のことができます。
HOLD/REST を押すと、現在のステップが保持されます。
RESET/ACCENT を押して手順 1 に戻ります。
SHIFT と任意の STEP を押すと、ゲートの長さ、レスト、アクセント、ラチェット、グライドを編集できますが、ノートは編集できません。SHIFT と同じ STEP をもう一度押して、ステップ編集を終了します。(再生が一時停止している場合は、同じ操作でメモも編集できます。
PAGE を押して 1 から 4 までのパターン ページを表示します。SHIFT と PAGE を押して自動ページめくりに戻ります。
SHIFT と ARP/SETEND と STEP を押して、シーケンスの終了ステップを変更します。
PLAY/STOP で再生を一時停止します。
- 再生 / 停止を押します。
- 注: 逆再生するには、SHIFT と PLAY/STOP を押します。

パターンの保存

- 現在のパターン番号の LOCATOR LED がゆっくりと緑色に点滅し始めるまで、SHIFT + PLAY/STOP を 2 秒間押し続けます。
- STEP スイッチ 1 ~ 8 を押して、新しいパターン番号を選択します。
- PATTERN + STEP スイッチ 1 ~ 8 を押して、目的のバンク番号を選択します。
- SHIFT + REC を押してパターンを保存し、保存モードを終了します。

保存したパターンの呼び出し

- PATTERN を長押しします。LOCATION LED に現在のパターン番号が表示されます。パターン 1 ~ 8 を上下に移動するには、<KYBD または STEP > スイッチを使用します。または、STEP スイッチ 1 ~ 8 を押します。これは、パターンの再生中に行うこともできます。
- SHIFT と PATTERN を押したままにします。LOCATION LED は現在のバンク番号を表示します。<KYBD または STEP > スイッチを使用してバンク 1 ~ 8 を上下に移動するか、STEP スイッチ 1 ~ 8 を押します。これは、パターンの再生中に行うこともできます。
- PLAY/STOP を押すと、現在のパターンが再生されます。
- 再生中、LOCATION LED はパターンの現在のページ (1 ~ 4) を示し、STEP スイッチ LED はステップの移動を示します。

ライブパフォーマンス

再生中の一時的な調整は、次のように行うことができます。(これらはいずれもパターンとともに保存されません。)

- パターンのすべてのステップにラチェットを追加するには、SHIFT を押して GLIDE コントロールを調整します。
- SWING を追加するには、SHIFT を押して TEMPO コントロールを調整します。
- パターンをミュートするには、SHIFT + HOLD/REST を押します。
- すべてのステップにアクセントを加えるには、SHIFT + RESET/ACCENT を押します。
- オクターブを変更するには、<KYBD および STP > スイッチを使用します。LED は現在のオクターブを赤色で表示します。

パターンの編集

- キーボード・モードでパターンを編集するには、REC を押します。STEP スイッチの LED が点灯します。
- PAGE を押して、編集するパターンページを 1 ~ 4 から選択します。緑色の LOCATION LED 1 ~ 4 が現在のページを表示し、ページボタンの LED が点灯してページがロックされていることを示します (ロックを解除するには SHIFT と PAGE を押します)。
- SHIFT を押しながら編集したい STEP スイッチを押します。新しい音符または休符を入力し、ラチェット、グライドのオン/オフなどの他のパラメーターを調整できます。
- SHIFT を押して、編集する次の STEP スイッチを押します。(ステップが自動的に次のステップに進むことはありません。次に編集するステップを選択できます。)
- REC を押して編集モードを終了します。
- PLAY/STOP を押すと、エディットしたパターンを聞くことができます。
- 上記の「パターンの保存」手順を使用してパターンを保存することを忘れないでください。

ステップモードでパターンを作成する

- SHIFT と STEP > を押して、シーケンサーの STEP モードを選択します。点滅している LOCATION LED が緑色 (キーボード モード) から黄色 (ステップ モード) に変わります。
- SHIFT、RESET、PATTERN を同時に押して、現在のパターンを初期化します。これにより、現在のパターンの前のステップが削除されます。(代わりに現在のパターンを使用する場合は、初期化しないでください。)
- PAGE を押して、パターンの目的のページに移動します。次に、SET END と STEP スイッチを押して、パターンの長さを選択します。たとえば、ページ 1 で SET END + 8 を押すと、パターンの長さは 8 ステップになります。PAGE を押してページ 4 に到達し、SET END + 8 を押すと、パターンは 32 ステップの長さになります (各 8 ステップの 4 ページ)。
- 目的の SET END が選択されると、そのステップまでのすべての STEP スイッチ LED が赤く点灯します。
- SHIFT といずれかの STEP スイッチを同時に押します。点滅し始め、編集しようとしている現在のステップであることを示します。ラチェット、グライド、アクセント、ゲートの長さの変更など、鍵盤モードで音符、休符、または上記のその他の機能を追加できるようになりました。
- SHIFT と現在の STEP スイッチを押して、そのステップの編集を終了します。点滅が止まります。
- 必要な手順がすべて完了するまで、上記の手順 5 と 6 を繰り返します。
- PLAY/STOP を押すとパターンが再生されます。
- 上記の「LIVE PERFORMANCE」の手順で示したように、演奏中に一時的な調整を加えることができます。

CRAVE テンポとアサインモードの選択

ステップ 5: テンポとアサインモードの選択

ステップモードでパターンを保存する

上記の KEYBOARD モードの「SAVING A PATTERN」の手順でパターンを保存します。

注意: ユニットの電源を切ったり、新しいパターンを作成したりしないでください。現在保存されていないパターンは失われます。

テンポ入力とアサインモードは、次の手順で変更できます。

1. SHIFT+HOLD/REST+8 を押して設定モードに入ります。LOCATION LED 1 が黄色に点滅します。
2. <KYBD または STEP> を押してページ 1 または 2 を選択します。黄色の LOCATION LED は現在のページを示します。
3. ページ 1 では、テンポ入力モード 1~3 を選択できます (以下の「テンポ入力モードのプログラミング」を参照してください)。
4. ページ 2 では、1 から 16 までの割り当て出力モードを選択できます (以下の割り当て可能な出力モードを参照してください)。
5. STEP スイッチ 1~8 を押して、1~8 の数値を選択します。現在の値は、緑色の LOCATION LED で示されます。
6. 値 9~16 にアクセスするには、SHIFT + STEP スイッチ 1~8 を押します。現在の値は、赤い LOCATION LED で表示されます。
7. 注: 設定が現在のページ LED と同じ LED 番号にある場合、LED は黄色のページ色と緑色または赤色のパラメーター色の間で交互に点滅します。
8. SHIFT + HOLD/REST + 8 を押して設定モードを終了し、パラメータの変更を保存します。

テンポ入力モードのプログラミング:

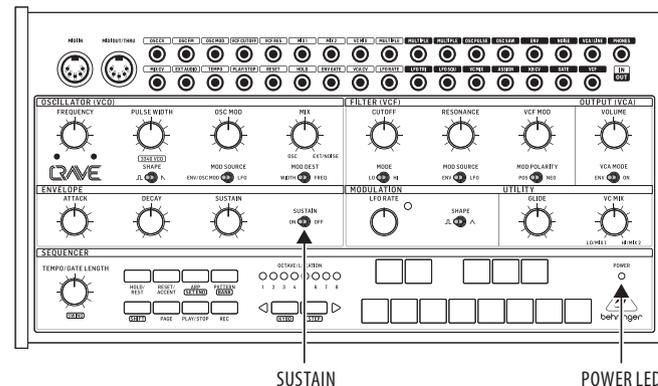
1. TEMPO CV 入力モード
2. テンポシングルクロックアドバンスモード
3. テンポ DIN 同期モード

割り当て可能な出力モード:

1. アクセント
2. シーケンサークロック
3. シーケンサー クロック/2
4. シーケンサークロック/4
5. シーケンサー ステップ ランプ
6. シーケンサーステップソー
7. シーケンサー ステップトライアングル
8. シーケンサー ステップランダム
9. シーケンサー ステップ1トリガー出力
10. MIDI ベロシティ
11. MIDI チャンネルプレッシャー
12. MIDI ピッチバンド
13. ミディ CC1
14. ミディ CC2
15. MIDI CC4
16. MIDI CC7

CRAVE ポリチェーン機能

ステップ 6: ポリチェーン機能



システムモード

電源 LED	モード
アンバー	ノーマルモード
赤	ポリチェーンモード

Poly Chain モードの設定には「SynthTool.exe」を使用してください。Poly Chain モード中は POWER LED が赤色に点灯します。

Poly Chain モードに入る/終了するには、SEQUENCER LED が点滅している間に SUSTAIN スイッチを 4 回以上すばやく切り替えます。パワーアップ。

MIDI information

MIDI message

	Status	Second	Third	Parameter	Description
Channel Message	8n	kk	vv	[0, 7F]	Note Off
	9n	kk	vv	[0, 7F]	Note On
	Bn	01	vv	[0, 7F]	CC1
	Bn	02	vv	[0, 7F]	CC2
	Bn	04	vv	[0, 7F]	CC4
	Bn	05	vv	[0, 7F]	Glide
	Bn	07	vv	[0, 7F]	CC7
	Bn	0C	vv	[0, 7F]	Tempo
	Bn	32	vv	[0, 7F]	Attack
	Bn	33	vv	[0, 7F]	Decay
	Bn	34	vv	[0, 7F]	Sustain
	Bn	41	vv	[0, 7F]	Glide On/Off
	Bn	7B	—	—	All Notes Off
	Dn	kk	—	[0, 7F]	After Touch
	En	bb	bb	[0, 3FFF]	Pitch Bend
SysRT	F8	—	—	—	Timing Clock
	FA	—	—	—	Start
	FB	—	—	—	Continue
	FC	—	—	—	Stop

Examples

Function	Command ⁽¹⁾
Note on	90 3C 64
Note off	80 3C 40
Select glide time MIN	B0 05 00
Select glide time MAX	B0 05 7F
Glide on	B0 41 00
Glide off	B0 41 7F
All notes off	B0 7B

Note: 1, MIDI input channel 1.

技術仕様

シンセサイザーアーキテクチャ

声の数	モノフォニック
タイプ	アナログ
発振器	1 (8.176~8.372k Hz)
LFO	1 (0.1~350 Hz)
VCF	1 ローパス、ハイパス (24 dB / オクターブスロープ)
封筒	ADS、VCO、VCF、VCA 用に選択可能

接続性

電源入力	DC 入力コネクタ
電源スイッチ	プッシュボタンのオン/オフ
MIDI イン、アウト/スルー	MIDI 入力および MIDI 出力/スルー、5 ピン DIN
MIDI チャンネルスイッチ	チャンネル選択 / 16 チャンネル
USB (MIDI)	USB 2.0、タイプ B
出力	VCA / ライン出力: 3.5 mm TS、アンバランス、最大 +8 dBu
出力インピーダンス	1 kΩ
ヘッドホン	3.5 mm TRS、最大 10 mW @ 32 Ω
ヘッドホンの出力インピーダンス	16 Ω

USB

タイプ	クラス準拠の USB2.0、タイプ B
サポートされているオペレーティングシステム	Windows 7 以降 Mac OS X 10.6.8 以降

発振器 (VCO) セクション

タイプ	3340
コントロール	頻度: -5 から +5 パルス幅: 5~95% 発振器変調: 0~10 ミックス: -5 から +5
スイッチ	形状: パルス、リバースソー モジュレーションソース: env / osc mod、LFO 変調先: 幅、周波数

フィルター (VCF) セクション

コントロール	カットオフ周波数: 0~10 (20 Hz~20 kHz) レゾナンス: 0~10 VCF 変調: 0~10
スイッチ	フィルターモード: ローパス、ハイパス モジュレーションソース: env、LFO 変調極性: 正、負

出力 (VCA) セクション

コントロール	ボリューム: 0~10
スイッチ	VCA モード: エンベロープ、オン

封筒セクション	
コントロール	攻撃時間: 0 から 10 (2 ミリ秒から 3 秒) 減衰時間: 0 から 10 (2 ミリ秒から 5 秒) サステインレベル: 0 から 10 (0 から 8 V)
スイッチ	サステイン: オン、オフ
変調セクション	
コントロール	LFO レート: 0~10
スイッチ	形状: パルス、三角形
導いた	LFO レート
ユーティリティセクション	
コントロール	グライドタイム: 0 から 10 (0 から 2 秒) VC ミックス: lo / mix 1 から hi / mix 2
シーケンサー / アルペジエーターセクション	
ステップ数	パターンごとに最大 32 ステップ
パターン数	最大 64 パターン
メモリストレージ	それぞれ 8 パターンの 8 バンク
コントロール	テンポ / ゲート長
スイッチ	ホールド / レスト、リセット / アクセント、アルプ / セット エンド、パターン / バンク、シフト、ページ、再生 / 停止、 録音、キーボードモード、ステップモード、13 音キーボード
LED	8x オクターブ / 場所

技術仕様

入力と出力 (TS 3.5 mm)	
入力	OSC cv: -5~+5 V OSC fm: -5~+5 V OSC mod: -5~+5 V VCF カットオフ: -5~+5 V VCF 共振: -5~+5 V ミックス 1: -5~+5 V ミックス 2: -5~+5 V VC ミックス: -5~+5 V 倍数: -5~+5 V ミックス cv: -5~+5 V Ext オーディオ: -5~+5 V テンポ: -5~+5 V 再生/停止: 3.2V 以上 リセット: 3.2V 以上 ホールド: 3.2V 以上 環境ゲート: 3.2V 以上 VCA CV: -5~+5 V LFO レート: -5~+5 V
出力	倍数: -5~+5 V 倍数: -5~+5 V OSC パルス: +/- 5 V OSC ソー: +/- 5 V 環境: 0~8 V ノイズ: +/- 5 V LFO トライアングル: +/- 5 V LFO スクエア: +/- 5 V VC ミックス: -5~+5 V 割り当て: 0 / +5V または +/- 5 V KB CV: -5~+5 V ゲート: 0 / +5 V VCF: +/- 5 V
電力要件	
外部電源アダプター (付属のアダプターのみ 使用)	12 VDC、1000 mA
消費電力	最大 3W
インジケータ	電源 LED
環境	
動作温度範囲	5°C - 45°C (41°F - 113°F)
物理的	
寸法 (H x W x D)	47 x 320 x 164 mm (1.85 x 12.6 x 6.46")
重量	1.5 kg (3.3 lbs)
積み込み重量	1.97 kg (4.3 lbs)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の

選択: ユニートをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230Vと120Vの2つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe デイラーがお客様のお近くにいるときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You